

校長室の窓



ペルーの空 1 学期終業式に

いよいよ明日から夏休みです。

夏休み前日と言えば、通知表と大掃除。この時期になると、私がまだ若かったころ、担当した1人の女子生徒をいつも思い出します。

その女子高生は、ペルーから日本に小学校の時来ました。

大掃除の日、私はその生徒とぞうきんを外の水場で一緒に洗っていました。その時、空いっぱい青があふれ、白い雲が浮く、あまりに見事な夏空に、その生徒の故郷、アンデスにコンドルが飛ぶ空を想像し「ペルーの空はもっときれいだった？」と聞いたのです。

「日本の空の方がいいよ。降ってくるのは雨ぐらいだから」とその生徒は答えました。

「私がペルーにいた頃は、空からは弾が降ってきた。夜、眠るとき、朝が来る前に弾が飛んでくるかもしれない、私には、明日の朝がないかもしれないと思うと、本当に怖かった。」と、話してくれました。

いつもは笑顔の素敵なその生徒が、まつげを落として話してくれた姿を私は忘れられません。その生徒が子供だった頃、ペルーは内戦のただなかでした。

今年は沖縄復帰50年ですが、77年前1945年の沖縄は戦場でした。そして、今、現在、私たちと同じ空の下、戦場となって夜眠るのが怖い子供たちがいる国もあります。

このようなことを考えると、今、ここ、という、時間と空間が、偶然にも私たちを生かしてくれていることに気づきます。私たちの命は、自分だけが生かしているのではないと気づきます。人は一人では生きていけません。時間的にも、空間的にもいくつもの奇跡が重なり、そして、自分以外の人たちに支えられて私たちの命はあるのです。そして、素敵なことに皆さんの命も、他の人を支えているのも真実です。

私の祖父は沖縄の人です。

私の大好きな沖縄の言葉に「なんくるないさぁ」というものがあります。これは、「自分なりに頑張ったら、今は、結果を求めなくていい」というぐらいの意味です。私は何度もこの言葉に励まされました。もし、皆さんにつらいことがあったら、「なんくるないさぁ」と呟いてみてください。山北高校の「着実に努力」にも繋がりますね。

また、「ぬちどう宝、命こそ宝」という言葉もあります。「命は宝だから大切にする」という意味もあると思いますが、私は、「命は大切にすることで美しい宝になる」という意味もあると思っています。

山北高校の皆さんには、自分の命をさらに美しく輝かせてほしい、そして、小さな子供が、夜、眠る時おびえることのない時代を作っていってほしいと思います。たいそうなことからでなくていいのです。この夏、自分に何ができるか、考えてみてください。

山高生、チバリヨー！良い夏休みとなりますよう。